

# いきいき通信

東尾張本部発行  
〒461-0011  
一般社団法人  
愛知県腎臓病協議会

- 1面 全腎協全国大会報告
- 2面 糖尿病の目の病気特集

## 本年度全腎協全国大会開催

### 長期透析四十年表彰一三七名

写真は福井藩主松平家別邸養浩館庭園と大本山永平寺

2017年度  
**全腎協全国大会 in 福井**  
～たしかな一歩をしあわせ元気な福井から～

**大会プログラム**

開催日：2017年5月21日(日) 午前9時30分～午後2時30分  
会場：フェニックス・プラザ 大ホール  
福井県福井市空新一丁目13-6

一般社団法人全国腎臓病協議会  
福井県腎友会

今年の全腎協全国大会が五月二十一日に福井市で開催されました。愛腎協からも事務局や地区本部役員多数が参加しました。大会に先立って「長期透析四十年表彰者」

の顕彰があり、全国で一三七名の方々がおられ、愛知県では九名おられました。四十年もの長い期間、透析を続けてこられた方々は、我々透析患者にとって大きな励みです。

その後、記念講演・大本山永平寺副監院 武内宏道師、医療講演1「みんなで学ぼう！透析のかゆみ」、ランチセミナー「透析患者さんにとって栄養と運動は生活の両輪です」と続き、昼食後、医療講演2「透析患者に潜む

「本当に怖い下肢動脈疾患」が行われました。昨年度の神戸大会でも下肢の問題が講演のテーマになっており、透析患者にとっては

大きな問題であることが伺えます。左の大会決議案が、決議されましたので掲載しておきます。

## 2017年度全腎協全国大会in福井

### 大会決議 (抜粋)

私たちは、腎臓病患者の命と暮らしを守ることを目的に立ち上がりました。そして「いつでも、どこでも、誰もが必要な時に人工透析が受けられること」を合言葉に長年活動に取り組んできました。日本の人工透析の治療技術は世界最高水準と言われています。私たちは、透析治療の進歩により、単なる延命治療から抜け出し、健常者に近い生活を送ることができるようになりました。

しかし、2012年以降、次々に成立した社会保障制度改革関連法によって、医療や介護を中心に、自己負担の引き上げや保険給付範囲の縮小など社会保障費の削減、抑制が実施され、この動きは、今後も引き続くものと推察されます。(中略) 社会保障制度改革に伴い、数々の社会保障の権限が国県から市町村に移譲される中、各地域での患者会活動の重要性が高まりその強化が求められています。

「たしかな一歩をしあわせ元気な福井から」を合言葉に、諸課題に全国の仲間とともに、一丸となって取り組んでいきましょう。以上、決議します。

# 糖尿病患者さんと目の病気

足の病変も重大な問題ですが、目の病気も昨今大きな問題となっています。特に糖尿病の患者さんに取っては、他人事ではありません。糖尿病による悲劇をさけるためには、その合併症について正しく理解することが不可欠です。糖尿病で病院に行って、コントロールが悪いと「目が見えなくなる」とか「腎臓が悪くなって透析を受けなければならなくなる」などと脅かされた方も多いことと思いますが、実際に途中失明や透析導入の原因のナンバーワンが糖尿病なのです。

## 糖尿病網膜症は気付かないうちに進行します

このような糖尿病による目の病気(糖尿病網膜症)や腎臓の病気(糖尿病性腎症)に、糖尿病による手足のしびれなど末梢神経の病気(糖尿病性神経障害)を加えた三つを昔から糖尿病の三大合併症と呼んできました。ここでは、目の合併症で最も発症率が高い「糖尿病網膜症」について書きます。ヒトの眼の構造はよくカメラに例えられます。レンズの役目を果たすのが水晶体で、フィルムの役目を果たすのが網膜です。この網膜が長年の高血糖によって障害を受けると糖尿病網膜症となり、治療が困難で最悪の場合失明に至ります。網膜症の初期には小さな出血や白斑と呼ばれる病変が少数認められますが、この段階では通常自覚症状はありません。

進行すると、病変の数が増え、比較的大きな出血も出現します。こうなると、病変の出現部位によっては視力低下や視野の異常を自覚することがあります。ここまで進むと、きっちり治療しなければ進行をくい止めることが難しくなるのですが、それでも自覚症状がない場合が多いのです。治療の基本は糖尿病コントロールを強化する事ですが、低血糖を起こすことは禁物です。また、必要に応じてレーザー光線で網膜を部分的に焼く光凝固療法を行います。網膜症がさらに進んで大出血や網膜剥離、網膜の前にある硝子体の混濁などが出現すると、治療は極めて困難で、失明の危険が差し迫ってきます。ここまでくると、完全失明をくい止める事を目的として硝子体手術など様々な治療が行われていますが、確実な方法はありません。やっかいなことに、網膜症は静かに自覚症状なく進行する場合がありますので、自覚症状が

出るずっと以前から定期的に眼底などの検査を受けて早期発見にとめること、そして糖尿病の正

しいコントロールをきっちり続けることが大切です。

**血糖値が高い**  
(以前は高かった)

血糖コントロールの悪い人は、網膜症になりやすく、かつ進行しやすいと言われています。

**糖尿病歴が長い**

糖尿病歴が5~10年で網膜症の発症は急激に増加すると報告されています。

**血圧が高い**

高血糖と高血圧は互いに悪影響を及ぼしあいます。

HbA1c(NGSP)  
7.0%以上は  
リスクが高い

7.0%

長ければ長いほど  
リスクが高い

5年 10年

高血糖 高血圧

出典: Kawasaki R, et al. Diabetologia. 2011; 54: 2288-94.

